

中 区



土 塔

中区は、深井駅を中心に住宅市街地が広がり、陶器川や阿弥陀池などの多様な水辺空間に恵まれ、中南部には良好な田園風景が見られます。

区の東部には、行基が奈良時代に築いた国指定史跡の土塔や登録有形文化財の兒山家住宅などの江戸時代の住宅建築があり、西部には、くら寿司スタジアム堺（野球場）やスケートボードパークなどのスポーツ施設、全天候型バーベキュー施設が整備された原池公園があります。

石津川沿いの毛穴地区では、伝統産業の注染（浪華本染め）が受け継がれ、国の伝統的工芸品に指定されています。

中区役所

〒599-8236

堺市中区深井沢町 2470 番地 7

（企画総務課）

Tel 072-270-8181

Fax 072-270-8101

泉北高速鉄道 深井駅

東側出口から南東へ約 300m

構 造：SRC

（地下 1 F・地上 4 F）

敷地面積：8,659.00 m²

建築面積：1,691.29 m²

延床面積：7,425.92 m²

駐車場：来庁者用 59 台

公 用 19 台



面積 17.88 km²

人口 117,592 人

世帯数 51,118 世帯

（令和 6 年 4 月 1 日現在）



中 区 地 域 計 画

～共感と協働で現代から次世代へ～

中区では、2021年に、10年先（2030年）を見据えた中区の将来像や2025年までの5年間の区政運営の基本的な方向性について、中区で暮らし、働き、地域活動を担うみなさんと共有することで、現在直面している、また、近い将来直面するであろう様々な地域課題の解決に共に取り組む、持続可能な社会の実現をめざして、中区地域計画を策定し、同計画に基づいて区政運営や事業実施を行っています。

● 中区のめざす将来像

～みんなが安心を感じ、魅力をつなぎ、活力を生む～
成長の歩みを止めない中区

人口の減少や高齢化の進行などの厳しい社会情勢の中でも、現状に満足してとどまることなく、昨日より今日を、今日より明日をよりよくするために進み続ける地域をめざします。



● めざす将来像を構成する要素

○ 3つの基本要素

本計画において、中区がめざす将来像を構成する、最も基本的な要素として、「安心」「魅力」「活力」の3つを定めています。これらの3つの要素が切れめなくつながりながら満たされていくことで、めざす将来像である「成長の歩みを止めない中区」として歩み続けていくことができると考えます。

■ 安心

中区に暮らす人たちが、自らの生活の基盤に「安心」感を抱き、安全であることを実感することで、様々な活動に精力的に取り組むことができます。



■ 魅力

中区が有する様々な資源を活用し、区の「魅力」をより多くの人に伝えていくことで、中区に暮らす人は中区民であることを誇りに思い、区外の人には中区を訪れたいと思うようになります。



■ 活力

中区に暮らす人たちが、中区で活動する団体が「活力」に満ちあふれ、様々な行動を行っていくことで、中区全体が活性化し、より強いマンパワー（人間力）を生み出すことができます。



○ 7つの分野別要素

3つの基本要素の下に、それらを構成する7つの分野別要素を設定することで、施策や取組方針、関連するSDGsのゴールなどを把握しやすいよう分類しています。



■ 子育て

- 子育て世代を地域全体で支援する環境整備
- 子どもの健やかな学び・育ちの確保



■ 福祉

- 高齢者・障害者福祉の充実
- セーフティネットの保証と自立支援



■ 安全

- 地域防災力の向上
- 犯罪や事故のない暮らしの実現





環境

- 緑にあふれる清潔な街並みの維持
- 省エネルギー化・省資源化の推進
による循環型地域社会の実現



歴史文化

- 歴史的な魅力の再発見
- 文化・芸術活動の振興



健康

- それぞれに合った健康増進習慣の確立
- 健康を支える地域社会の構築



交流

- 地域課題解決力の強化
- 区民間交流の推進

